

MITSUBISHI

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ80-PREMI シリーズ

(ナビゲーションシステム)

取付要領書

同梱物リスト

カー、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。

ナビゲーション本体	電源ケーブル 圧縮式コネクタ ×3	USB 接続ケーブル
サラネジ (M5×8)×8	カップスクリュー (M5×8)×8	クッションテープ (長)×4 (短)×2
クリップ (サンバイザー用) マイク コードクランプ (コラムカバー用)	クリップ GPS アンテナ 両面テープ	クランパー ×2 グラウンドプレート
外部入出力ケーブル	●取扱説明書 ●保証書 ●VICS 約款 ●地図記号について ●miniB-CAS カードおよび契約約款 ●ご愛用者登録ハガキ ●シリアルナンバー取扱説明書 ●音質調整メモ ●チューニングブリッジ SD カード ●製品登録サービス	●取付要領書 ●お客様相談窓口一覧表 ●地図データベース ●地図カード ●ご愛用者登録手続きのお知らせ ●シリアルナンバーラベル ●カーナビ盗難防止チラシ ●チューニングブリッジ取扱説明書 ●openinfo サービス ●WEB サービス登録手順書

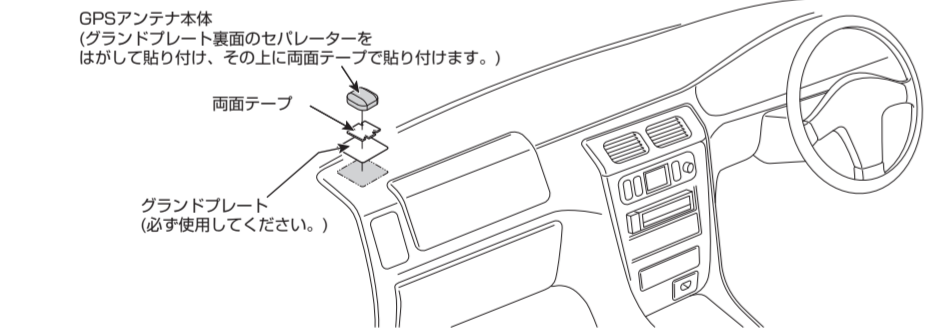
三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)
N871L69935 1/2 13-07(A2D)

③ GPS アンテナの取り付けかた

取り付け例

<フロントダッシュボードに取り付ける場合>

●GPS アンテナ本体はダッシュボードの中央付近を避けてフロントガラスに近い位置に取り付けてください。(ダッシュボード中央付近に GPS アンテナ本体を設置すると、センターコンソールに設置されている周辺機器からの影響で受信感度が低下することがあります。)

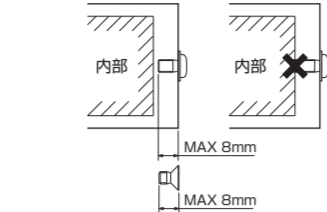


注意事項

- ※ GPS アンテナ本体を車内に取り付ける場合、必ずグラウンドプレートを併用してください。またグラウンドプレートを小さくするなどの加工をしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- ※ GPS アンテナ本体の設置場所は、GPS 衛星からの電波がさえぎられない場所で、なるべく平らで水平な面を選んでください。
- ※ GPS アンテナケーブルは、必要に応じてクランパーを使用して車両に固定してください。
- ※ GPS アンテナケーブルの配線はテレビやラジオのアンテナケーブルから離してください。近づけて配線すると GPS アンテナの受信感度が低下する場合やテレビやラジオに妨害を与える場合があります。
- ※ GPS アンテナ本体は、ナビゲーション本体、周辺機器およびそれらの接続ケーブルの近くに取り付けてください。近くに取り付けると受信感度低下の原因となる場合があります。

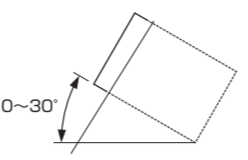
① ナビゲーションの取り付けかた

●取り付けには、必ず付属のネジを正しく使用してください。



注意事項

※ 取り付け角度は、水平～30°の範囲で使用してください。範囲外で使用した場合、故障の原因となります。

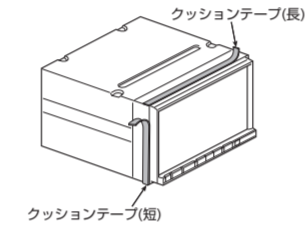


取り付けネジ穴および奥行き寸法



ユニット取り付けの注意点について

●ユニット背面にはコネクタや、ファンの通風孔があるため、車両の構造や取付キットのブラケット形状によっては、ユニットが装着できない場合があります。取り付け前に、車両および取付キットを確認してください。
●パネル開口部の隙間が広く隙間が目立つ場合は、ナビゲーション本体にクッションテープを貼り付けてください。



注意事項

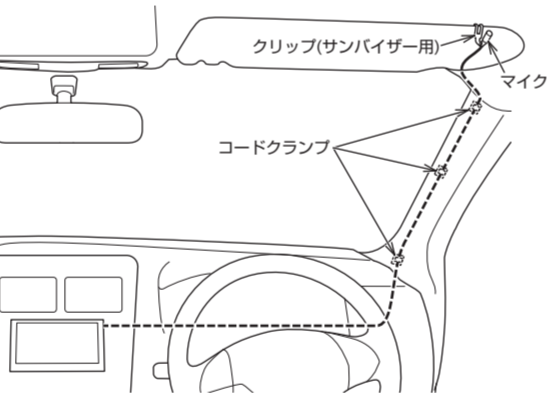
市販の取付キットなどに同梱されているエスカッションパネルは、モニター部分が干渉して装着できない場合があります。また市販の取付キット側でエスカッションを取り付ける指示がない場合は使用しないでください。(隙間が目立つ場合はクッションテープを貼り付けてください。)

④ マイクの取り付けかた

取り付け例

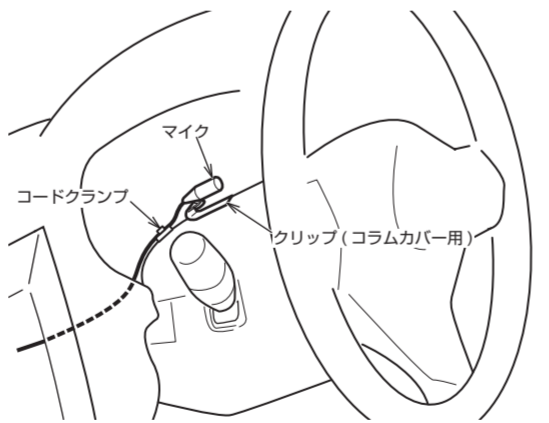
<サンバイザーにマイクを取り付ける場合>

●サンバイザーを上げた状態でマイク (サンバイザー取付用クリップ付) が発話する人の方へ向くようにクリップでサンバイザーに取り付けます。
●マイクのコードをコードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



<コラムカバーにマイクを取り付ける場合>

●マイクに付いているサンバイザー取付用のクリップをコラムカバー取付用のクリップに付け換えて、ハンドルコラム上のあらかじめ決めておいた位置にクリップ (コラムカバー取付用) のはかり紙をはがして貼り付けてください。
●マイクのコードをコードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



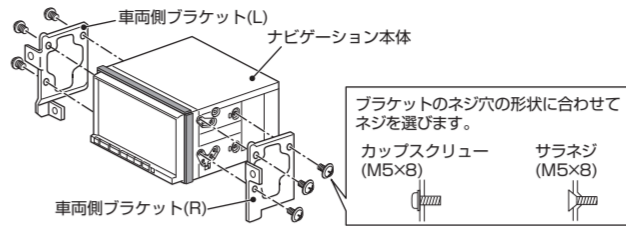
注意事項

- ※ マイクは発話する人の口元から 20～40cm の距離のとこに、口元に向けて取り付けてください。
- ※ 口元からの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると音声拾いにくなります。
- ※ コラムカバーに取り付ける場合、メーターなどの視界を妨げず、ステアリング操作などに支障のない位置を選んでください。また、貼り付け面の汚れや油分、水分を拭きとってください。
- ※ マイクと発話する人の間に障害物があるような取り付けは避けてください。
- ※ マイクが口元に向いていないと、車内の騒音が大きいために音声拾いにくなります。
- ※ サンバイザーを下げた状態ではマイクが発話する人の方を向かないため音声拾えません。
- ※ マイク取付位置はサンバイザーを推奨します。(コラムカバーに取り付けた場合は、一部の車種で振動、騒音などの影響により十分な性能が得られないことがあります。)

取り付け例

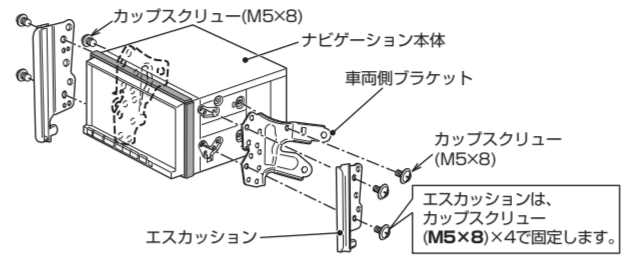
<車両側ブラケットで取り付けの場合>

●既設の車両側ブラケットを用いて取り付けます。年式、車種、グレードにより、専用取付キット (市販の取付キット) が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。



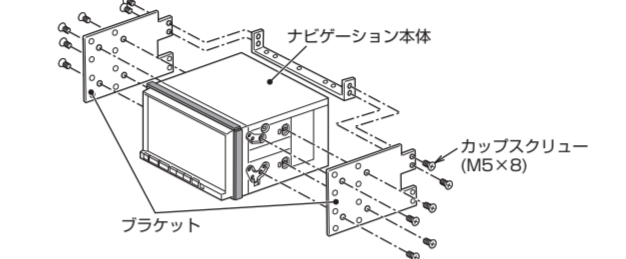
<トヨタ車に取り付ける場合>

●エスカッション (市販のエスカッション) を用いて取り付けます。



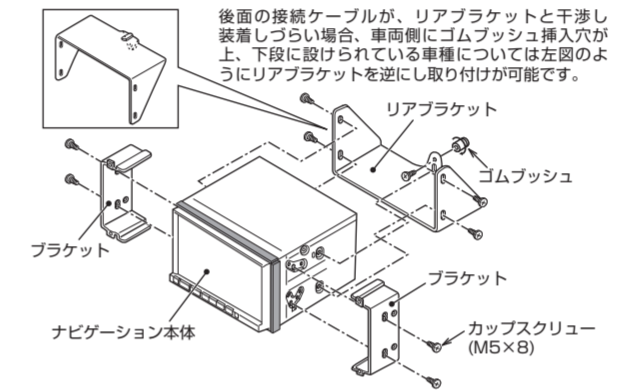
<ホンダ車に取り付ける場合>

●標準取付キット (市販の取付キット) を用いて取り付けます。



<マツダ車に取り付ける場合>

●標準取付キット (市販の取付キット) と、マツダ専用ブラケットを用いて取り付けます。



注意事項

車種によっては、モニター部開閉時に取り付け用ネジ穴の遊びによりモニター上面部がセンターコンソールに干渉する恐れがあります。その場合はナビゲーションユニットを取付ブラケットに対して下側によせて取り付けてください。

⑤ 接続確認のしかた (動作チェック)

ナビゲーション

1) 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを <ACC> または <ON> にする

2) 動作チェックを行う

INFO キーを押し、**設定** → **システムの設定** → **車両取付確認** → **車両信号チェック** を選び各項目の動作チェックを行ってください。(画面の見かたは付属の「取扱説明書」の「車両取付確認」をご参照ください。)

3) GPS 測位を確認する

INFO キーを押し、**設定** → **Navi の設定** → **自車位置の補正** → **自車位置情報** から GPS が測位していることを確認します。GPS 受信まで数分かかることがあります。(表示内容については付属の「取扱説明書」の「自車位置の補正」をご参照ください。)

注意事項

各項目のチェック結果で NG となった場合は、必ず車両を安全な場所に停車し、取り付け・配線をもう一度確認してください。

4) 車速・ジャイロの初期設定 (自動) を行う

見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行ってください。

5) 初期設定を確認する

INFO キーを押し、**設定** → **Navi の設定** → **自車位置の補正** → **センサー補正状況** を選び画面を確認します。(センサー学習情報の確認は「取扱説明書」の「自車位置の補正」をご参照ください。)

※手順 5) で車速/バリス数の表示が「-----」のときは初期設定が完了していないか、車速信号の取り出しが正常でない場合が考えられますので、接続を確認した後、手順 4) ~ 5) を繰り返してください。

注意事項

※ 初期設定中は、自車位置マークが正しく動かないときがあります。
※ 車種・年式・エンジン型式により車速/バリス数が異なりますので、ナビゲーションユニット本体を別の車両に積み変えた直後は実際の移動距離と異なることがあります。また、タイヤを交換された場合も同様です。

自車位置精度と自動補正について

●自車位置精度は上記「接続確認のしかた (動作チェック)」による初期設定完了後、GPS の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行しますと車速自動補正が働き、交差点で右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで自車位置精度が徐々に向上していきます。(自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働き易くなります。)

② 車両の信号の接続

車速信号の取り出し方

<車速信号の取り出しについて>

●車速信号は主にエンジン電子制御装置 (ECU) に接続されている車速信号ケーブルから取り出します。これはエンジン電子制御装置が主に室内に取り付けられていて、車速センサー回路から直接取るよりも場所の確認など配線作業が容易に行えるためです。

<車両側車速信号ケーブルの位置>

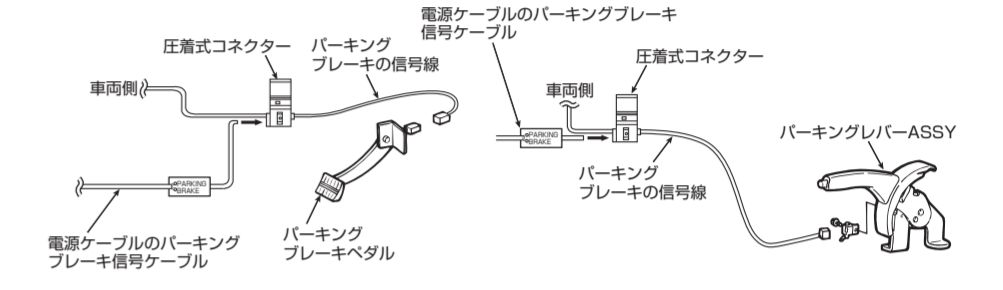
●車種、年式、エンジン型式の違いにより異なります。車速信号に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙お客様相談窓口一覧表に記載の代理店にご相談ください。

注意事項

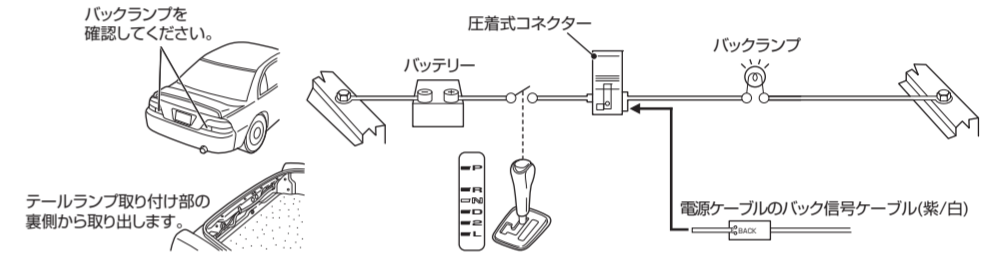
配線終了後「接続確認のしかた (動作チェック)」をご覧ください。車速信号が確実に取り出されていることを確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

パーキングブレーキ信号の取り出しかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。



バック信号の取り出し方



⑥ カメラの設定

※ 別売のリアカメラまたはフロントカメラ、サブカメラを本機に接続した場合に以下の操作を行います。

リアカメラの接続設定

この操作の後、必ず裏面の「リアカメラを取り付けた場合の設定」を行ってください。

当社製リアカメラ BC-20M を取り付けただ場合は、以下の操作は不要です。

- 1) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 3) **リアカメラの設定** にタッチする
- 4) **リアカメラの接続設定** にタッチする
- 5) **接続あり** にタッチする

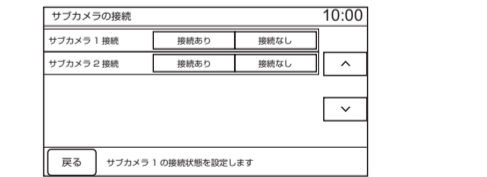


リアカメラの使用が可能となります。

サブカメラの接続設定

サブカメラ 1 またはサブカメラ 2 の接続設定を行います。

- 1) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 3) **サブカメラの設定** にタッチする
- 4) 接続したサブカメラの **接続あり** にタッチする



サブカメラの使用が可能となります。

MITSUBISHI

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ80-PREMI シリーズ

(透明 TV アンテナ)



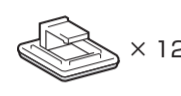

取付要領書

ご注意とお願い

- 取付および接続作業の前に別冊の取扱説明書「お客さまへ安全上のご注意」をお読みください。
- 本書をよくお読みの上、正しい取付および接続を行ってください。
- 作業終了後、お客さまへ本取付要領書をご返却ください。

同梱物リスト

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。

TV アンテナ (A)(B)  ×2	TV アンテナケーブル  ×4
クランパー  × 12	クリーナー  × 2

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3(東京ビル)
N871L69935 2/2 13-07(A2)

1 TV アンテナ貼り付け作業前のご注意

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
 - 車室内に取り付ける TV アンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
 - 保安基準^{※①}に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けください。
 - 本製品はフロントウィンドウ専用です。車体の側面(ドアやフロントクォーターウィンドウなど)や、後面(リアウィンドウ)に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
 - TV アンテナのセパレーターをはがした後、TV アンテナ貼付面には手を触れないでください。指紋やゴミが付着し、粘着力が低下します。
 - TV アンテナを接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
 - 保安基準は、道路運送車両の保安基準第 29 条第 4 項第 7 号に対する、平成 11 年 12 月 27 日付の運輸省(当時)告示第 820 号をいいます。
- フロントビラーエアバッグ(カーテンエアバッグ)を装着した車両に取り付ける場合は、エアバッグ関連の取り扱いの教育を受けた専門技術者に依頼してください。

注意事項

TV アンテナは一度貼り付けてはがすと、粘着力が弱くなるため貼り直しができません。必ず TV アンテナを仮止めし貼り付け位置を確認してください。(TV アンテナの貼り付け位置によってはビラーカバーを元に戻す際に TV アンテナケーブルのアンブ部がビラーカバーに干渉することがあります。)

2 TV アンテナの貼り付け位置について

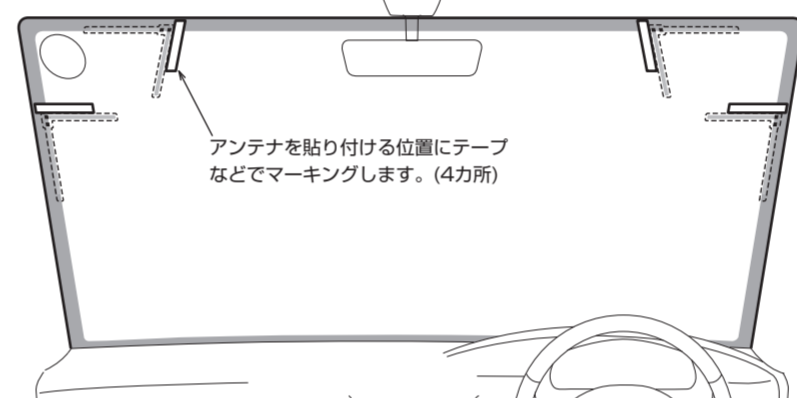
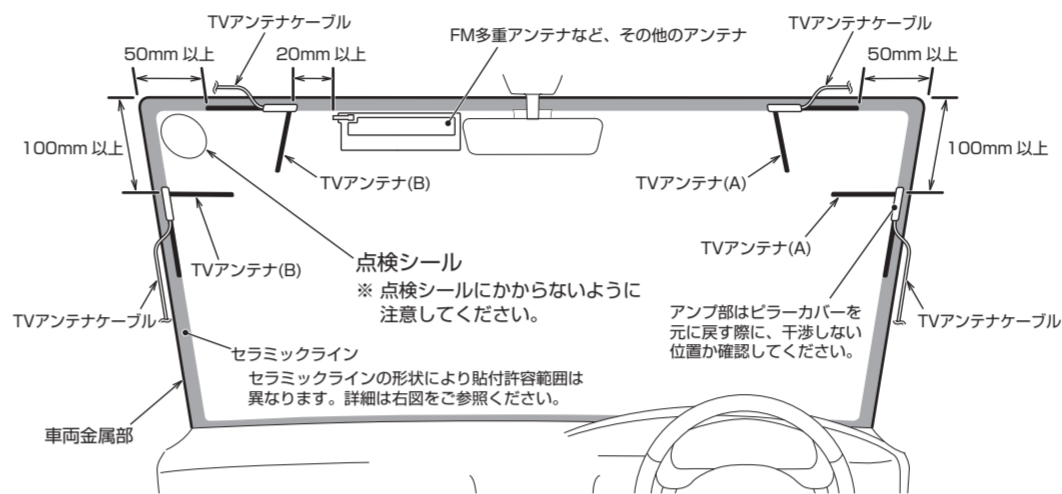
- 性能を十分発揮するために TV アンテナケーブルのアンブ部は必ず貼付許容範囲内の位置に貼り付けてください。
- 検査標章や点検シールと重ならないように貼り付けてください。

注意事項

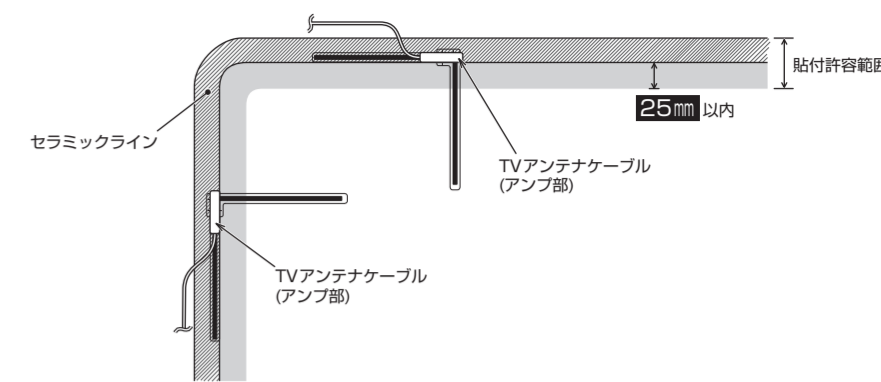
TV アンテナケーブルのアンブ部はフロントガラス透明部分 25mm の範囲を超えないよう貼り付け位置を決めてください。

TV アンテナ貼付位置概要 <フロントガラス(車内)面視>

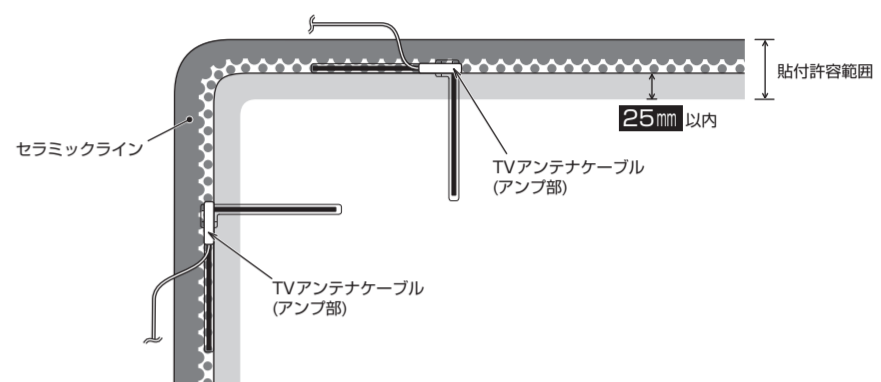
- TVアンテナは左右対称に貼り付けてください。



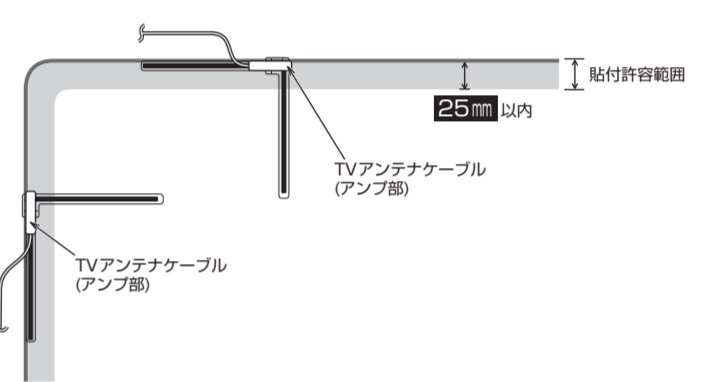
セラミックライン(ドットパターン無し)の境界がある場合



セラミックライン(ドットパターンあり)の境界が無い場合

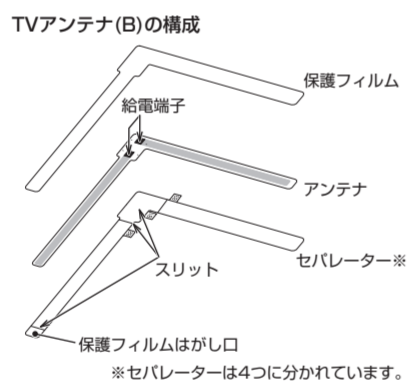


セラミックラインが無い場合

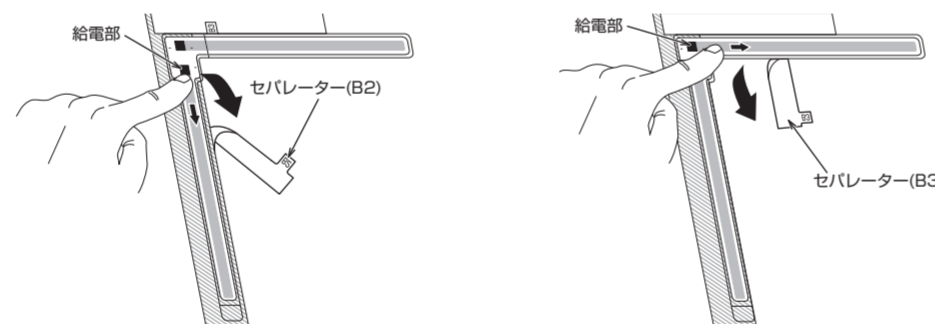


3 TV アンテナの貼り付けかた

- 貼付部分を付属のクリーナーできれいにする
- 乾拭きを行い、貼付部分をきれいに拭き取る
貼付部分は完全に乾いた状態にしてください。



- セパレーター (B2) を持ち、下側へゆっくりとはがしながら、給電部より徐々に指などで TV アンテナを押さえて貼り付ける
- セパレーター (B3) を持ち、横側へゆっくりとはがしながら、給電部より徐々に指などで TV アンテナを押さえて貼り付ける



注意事項

※ セパレーターをはがしながら、TV アンテナを貼り付けます。途中で作業を止めたり、押さえる力を緩めたりすると、貼付面が白く濁る場合がありますので十分注意してください。

- TV アンテナを保護フィルムの上から念入りに押し付けて貼付面に密着させる

保護フィルムの上から TV アンテナを樹脂ヘラなどで押しつけて気泡が残らないように密着させてください。

注意事項

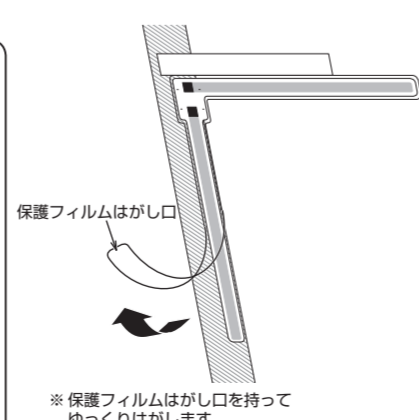
※ 押し付けが足りないと、TV アンテナが浮く場合や、はがれや断線の原因となる場合があります。

- 保護フィルムはがし口を持ち、保護フィルムをゆっくりとはがす

TV アンテナが確実に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧にはがします。

注意事項

- ※ セパレーター (B1) 部分以外からはがさないでください。
- ※ TV アンテナの給電部には触れないでください。錆(さび)の原因となります。
- ※ TV アンテナ貼り付け直後(3時間以内)は貼り付けた TV アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、TV アンテナの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、時間に関わらず、TV アンテナ上を直接拭くときは柔らかい布などを使用し、TV アンテナが傷付かないよう注意してください。
- ※ TV アンテナが保護フィルムと一緒にはがれた場合は、保護フィルムを元に戻し、樹脂ヘラなどで密着させたのち再度行います。

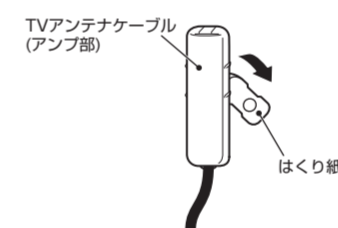


- マーキングをはがす

4 TV アンテナケーブルを配線する

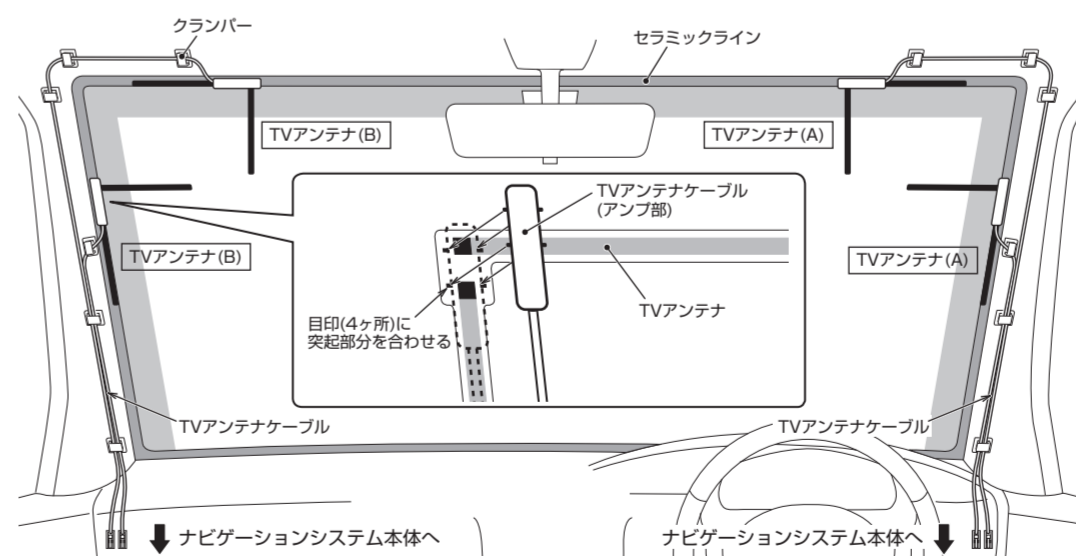
- TV アンテナケーブルのアンブ部のはくり紙をはがす
- アンブ部の突起部を、TV アンテナの目印に合わせ貼り付ける

アンブ部の貼り付け位置がずれると、TV アンテナの給電部の接触が悪くなり十分な性能が発揮できません。下図を参照し、正確に貼り付けてください。



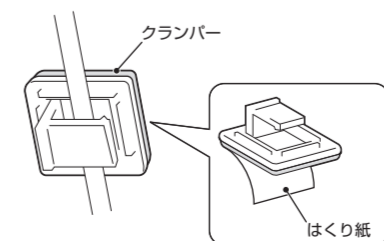
注意事項

- ※ アンブ部がしっかりと貼り付くように、TV アンテナの給電部の周りをもう一度乾いた布などできれいに拭いてください。
- ※ アンブ部付近は、無理に引っ張ったり、折ったり、ねじるなど絶対にしないでください。



- クランパーで TV アンテナケーブルを固定する

各 1ヶ所はクランパーで TV アンテナケーブルのアンブ部に近い位置で固定してください。残ったクランパーで要所を固定しながら配線を引き回してください。



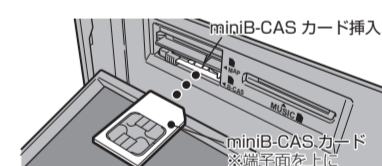
- 内装(ビラーカバー・ルーファイニング)を元通りに取り付ける

5 接続確認のしかた(動作チェック)

- 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを <ACC> または <ON> にする

- miniB-CAS カードを入れる

- ▲ キーを押し [モニター OPEN] にタッチする
パネルが開きます。
- miniB-CAS カードを挿入する
ロックを外し、miniB-CAS カードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。



- ロックする

ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。



- ▲ キーを押しパネルを閉じる

注意事項

- miniB-CAS カードはパッケージを開封することで「B-CAS カード使用許諾約款」に同意したとみなされます。お客さまに確認の上、本機に miniB-CAS カードを挿入していただきますようお願いいたします。
- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- 画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

- ソースを TV に切り換える

- 初期設定を行い、地上デジタル放送が受信できることを確認する
初期設定については取扱説明書の <はじめてテレビを見るとき> をご参照ください。